

# 全日本ジムカーナ ALL JAPAN GYMKHANA CHAMPIONSHIP 2011開幕直前 ストーブリーグ情報

PHOTO: Hiroyuki TOMODA<友田宏之>, PLAYDRIVE<編集部>  
TEXT: Osamu TABATA<田畑修>, PLAYDRIVE<編集部>



# PN元年

新生PNクラスでジムカーナが変革!?

PNクラスのSタイヤ禁止&ロールバー推奨化など、何かと話題が多い全日本ジムカーナ。これらは次世代を見据えた時代の潮流であり、少なくとも全日本ジムカーナ界では、ほかのクラスにも影響を及ぼしつつある。ここでは、3月末に開幕が迫った全日本ジムカーナPNクラスの現状と、そのクルマ作りの実際をお届けしつつ、主要クラスの開幕直前ストーブリーグ情報をまとめてみた。

JGC  
2011  
変革  
ポイント

1

PNクラスの軒並み増殖!  
開幕戦のPN1は20台超え!?

今年シーズン、全日本ジムカーナで予想以上の盛り上がりとなりそうなPN車両クラス。09年N4クラスチャンピオン岡野博史のPN3クラスへの移行は先月号でもお伝えしたが、他にも中堅・有力選手がPNマシンへと乗り換えるとともに、ベテランと若手が相まみえる興味深い動きもある。ご存じのようにPNクラスは今年からタテ溝規制によりレギュラータイヤ(非Sタイヤ)での戦いとなるが、タイヤ・ホイールサイズがNクラス同様ワンサイズの変更に可能になり、タイヤのチョイス幅が拡大した。2月半ば時点ではまだ未確定の情報も少なくないが、その動きをいくつか追ってみよう。

まずPN1クラスは第1戦の鈴鹿南ラウンドでエントリーが20台を超える可能性も出てきた。いわば新型コンパクトカークラスのPN1だが、地区戦などで盛り上がった1500ccクラスでの実績に加え、戦闘力のある新型車が出そろったこと、そして参戦を続けるうえでのイニシャルコスト、ランニングコストを抑えられる利点もある。昨年のPN1チャンピオンである福田大輔はクラス移行で全日本戦はスポット参戦となりそうだが、シリーズ2位の西野洋平、3位の阪本芳司、4位のひできをはじめ多くの選手が今年もチャンピオンを目指す。また、08年、09年のN1チャンピオンであるベテラン喜多治人がデミオで参戦してくるのもニュースだ。喜多は「N1は若い人に譲って、新しいク

ラスを盛り上げようと考えていましたが、もう盛り上がりつつあるみたいですね(笑)」

N1でサポートされていた関係でポテンザRE11でPN1に参入する喜多だが、それを迎え撃つ形となるひできは、今年もスイフトスポーツ・トヨタ・レギュラータイヤで挑む。

「今年からタンパーをITOオーリスに換えますが、どこまでレギュラータイヤに合わせていけるか、いろいろやっている最中です」

フロントにブロックセスT1R、リアにDBRと連う銘柄を履くのも興味深い。

「やや粘り気味の傾向があるリアにT1Rよりグリップが低いDRBを履いて、よりリアを動かすようなセッティングにしたいと考えている結果です。それに加えて16インチと17インチを履くことができますので、コースによって使い分けることも考えています。リム径の変更によってファイナル変更のような効果も得られそうですし、いろいろやってみようと思っています」

期待のスイフトだけにデミオだけでなく新規参入のフィットやCRIZ、ヴィッツを相手にどう戦うのか楽しみだ。今年SA1から移行してきたEK9乗りの勝野佑紀もダブルエントリーでこのひできスイフト



昨年PN1シリーズ2位の西野洋平は今年こそPN1チャンピオン獲得に意欲を燃やしている。



元N1チャンプの喜多治人はデミオにスイッチ。「レギュラータイヤは03年のトヨタ時代」という。「今年はフロントに7・5Jが履けるようになり、スイフトらしい走りができると思います」とひでき。

でPN1を戦う予定で、そのあたりの戦略も楽しみだ。

また、ガレージT2からは稲木祐子がデミオで参戦してくるが、マシンオーナーである岡崎祐美子とダブルエントリーで全日本を戦う予定だ。RX17で2位表彰台の実績もあり、SW20やランサーの経験もある稲木に対し、岡崎は今年から本格的に競技を始めるというヒギナー。これについて稲木は

「岡崎さんは今の草食系男子にないガッツがある女性で、これを機会に新たな挑戦をしていきたいと思って2人でエントリーすることにしました。彼女はまだ25歳で競技経験はありませんが練習熱心で、3〜4回の走行ですぐ伸びてますから、ホント楽しみです。今年だけでなく何年かかけて上位を目指す形ですが、彼女のような新人を育てていけるのもレギュラータイヤのクラスの良さだと思います。ただ、実績がないだけにエントリーが受理されるかどうかという心配もあります……」

稲木自身もFF車での本格的な競技参加は初めてだというが、女性2人の参戦はそれだけでクラスを盛り上げてくれるはずだ。

「新たにデミオ用のダンパーも開発して、タイヤはネオバAD08でいきます。RX17やランサーに比べるとタイヤも楽だし(笑)、2人ともやる気まんまんですよ」

男の選手もうかうかしてられない状況となりそうなPN1だが、前述の選手以外にもSA1で上位を争ってきた山越義昌が長年乗ったEF8からデミオに乗り換えて参戦。痛車風のイラストを配したカラーリングになるというから楽しみだ。そしてN3で戦ってきた近畿の野口泰通



昨年のPN3チャンピオン野尻隆司はN4に移行する。

がティアーアシストのサポートでスイフトで参戦し、N3でRX17を走らせてきたエグゼの中島聡は新型フィットでエントリーしてくる。また、S1500日本一決定戦を制した中部の鶴岡洋一はラックのサポートで新型フィットをデビューさせる予定で、それに昨年はSA1で戦った3台のCRIZ、折茂紀彦、亀山伸一、武藤功二が加わり、車種のバラエティが増すとともに戦いのレベルもぐっと高まる。今年はこのPN1がシリーズ戦の目玉となる可能性さえ出てきた。

PN2クラスは参加者がそろわずまだ1戦も成立していないが、ここに来て開幕戦はなんとから5台そろって成立しそうな情報も出てきた。うまくいけはFD2シビックR vs フェアレディZ 34の戦いも見られそうです、これも楽しみです。

そして早くも3年目を迎えるPN3クラスは、岡野博史の参戦に加えて中国の井上賢治がGRBインプレッサを持ち込んでくる。ずっとランサーに乗ってきた井上は

「去年の鈴鹿南の頃にはPN3に移ろうかな、と考えていました。改造車も含めてひと通り4WDのクラスで走ってきましたので、PN3もやってみようかと……(笑)。そんな中で岡野さんが参戦を表明してくれたのは励みになりますね。ジムカーナを22年やってきて、Sタイヤとスリックしか履いたことなくて、レギュラータイヤがどういう感じなのか分かりませんが、サイズ選択の自由度が増して敷居が低くなったのもきっかけのひとつではあります。サイズに関してはまだ悩んでいる最中ですが……」



PN3のランサー-エボX勢では紅一点の奈良橋成美も昨年引き続きPN3を戦う。

昨年チャンピオン野尻隆司はN

## PN&AE部門のタテ溝規制とは?

今年から全日本ジムカーナ選手権統一規則としてPN部門およびAE部門を対象に盛り込まれたのが、いわゆるタイヤのタテ溝規制だ。タイヤ接地面を1周する連続したタテ溝を有するタイヤの使用が義務づけられ、ストレートグループと呼ばれるタテ溝を持たない最新Sタイヤの使用は事実上禁止されることとなった。ストレートグループはウェットでは優れた排水性を見せる一方、ドライではトレッドの横剛性を確保に影響することもあり、最新のSタイヤでは採用されなくなっている。それを逆手に取った規制となつたわけだが、半面、もしタテ溝を持つSタイヤが再び出てきた場合は効力を失うという面も持つ。ロールバー装着はジムカーナのナンバー付き車両クラスではずっと「推奨」だったが、もてぎオーバルなど高速サーキットの使用などがきっかけで06年からは「義務づけ」となった。今年からPNおよびAE部門に限って再び「推奨」(オープンカー除く)となったことで、参戦の敷居は下がったことになる。



4へ移行するが、09年チャンピオンの山野直也は新型GRBスベックCでダブルエントリーを目指す予定だ。一方でマシンはそのままながらインプレッサの開発者である森宏志と舟橋悟のダブルエントリーも継続で、やはり富士重工でエンジン開発を担当する浅井崇もGRBで参戦。全戦参戦ではないものの富士重工チームは今年もPN3で戦う。

そしてランサー・エボX勢は岡野博史に加え、紅一点の奈良橋成美も参戦を予定しており、PN3もPN1に負けず劣らずの盛り上がりとなりそう。

昨年までSタイヤで走ってきた選手は、レギュラータイヤに合わせたセッティングの変更、ドライビングのチェックなどが必要になる一方で、ワンサイズ変更が可能なタイヤサイズをどう決めるか、という点も悩みのところだ。

どろろのようだ。やみくもに径を大きくして太くすればいいわけでもなく、さらに静的負荷半径なども考慮していかなければならない。Sタイヤよりサイズ設定が豊富だけに、一番オアシイところを見つければいいよと時間も必要だろうが、コンパウンドは1種類しかなく、さらに会場まで本番用を履いていくこともできるので、積んでいくタイヤの本数を減らすことができるメリットもある。ロールバーに関して、ボディ剛性を高めるために装着したほうがいいのかという声もあるが、そのあたりも戦っていかうちに答えが出てくるものと思われる。

台数増で一気に盛り上がることになりそうなPNクラス。Sタイヤ主体で戦われてきた全日本ジムカーナのか!? 注目したい。